

職 員 参 集 状 況 報 告 書

		受付番号		
参集場所			氏 名	
部・班名	部	班	所 属	部 課
参集時間	自宅出発時間		所要時間	時間 分
	到着時間		参集方法	歩 ・ 転 ・ バ ・ 車 ・ 交
本人・家族 等の安否の 状況				
参集経路上 での被害の 状況	・ 人的被害状況、建物被害状況、道路等被害状況等			
参集途上 における留意 事項				

- 注) 1 参集後に記入し、本勤務場所に参集した者は班長に、他の勤務場所に参集した者は、所属長に提出すること。
- 2 班長又は所属長は、収集後に各部の対策部長に提出すること。
- 3 受付番号は、災害対策本部危機対策班で記すこと。
- 4 安否の状況欄は、負傷等の状況及び家族の場合は続柄を記入すること。
- 5 被害の状況欄には、人的、建物、道路、橋梁、ライフライン等の被害状況を簡潔に記入すること。
- 6 留意事項の欄には、参集途上において、危険箇所等防災対策面で何か気付いた点等を記入すること。
- 7 参集方法欄は、徒歩の場合は歩、自転車の場合は転、自動二輪の場合はバ、自動車の場合は車、交通機関利用の場合は交に○と記入すること。

職 員 参 集 者 受 付 簿

<送付先>
部長 様

<発信元>

				部	班長
番号	所属・職氏名	参集時刻	参集方法	備考（職員の健康状態等）	
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		
		:	歩・転・バ・車・交		

注) 1 参集方法欄は、徒歩の場合は歩、自転車の場合は転、自動二輪の場合はバ、自動車の場合は車、交通機関利用の場合は交に○と記入すること。

2 備考欄は、参集した本人が負傷等により、作業を行うに当たり支障のある場合に限り記入すること。

職員等安否確認調査票

<送付先>

部長 様

<発信元>

部

班

所属・職氏名	連絡方法	連絡時間	連絡の 可 否	本人・家族等 の安否状況	備 考 (参集可能時間等)
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		
		:	可 ・ 否		

注) 1 連絡方法欄は、連絡に使った手段（電話、直接訪問等）を記入すること。

2 連絡の可・否の欄は、本人の家族に連絡が取れたかどうかを、取れた場合は○、取れなかった場合は×と記入すること。

職 員 参 集 状 況 集 計 表

区 分	総 人 数	時 分現在	時 分現在	時 分現在	備 考
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	
合 計	人	(人 %)	(人 %)	(人 %)	

炊き出し給与状況

[illegible]

注) 1 「備考」欄は、給食内容を記入すること。

2 本様式は、災害救助法の適用時にはその事務のために用いること。

炊き出し等による食品給与物品受払簿

品 名		単位 呼称					
年 月 日	摘 要			受	払	残	備 考

注) 1 「摘要」欄に、購入先又は受入先及び払出先を記入すること。
2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
3 最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

飲料水の供給簿

[illegible]

注) 給水用機械器具は、借上費の有償、無償を問わず作成するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に記入をすること。

給水関係物資受払簿

救助の 種目別	年月日	品 名	単 位	摘 要	受	払	残	備 考
給食用 機械器具								
燃 料								
浄水用 薬 品								
資 材								

記 載 者 部・職・氏名	
-----------------	--

- 注) 1 「摘要」欄に購入または受入先及び払出先を記入すること。
- 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること。
- 3 各救助の種目別最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。なお、物資等において、道より受入分及び町調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。
- ※災害救助法が適用されない場合にも本様式を使用する。

救助種目別物資受払簿

救助種目別	
品名	

月 日	摘 要	受	払	残	備 考
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
計					

注) 1 「救助種目別」欄には、①避難所用②炊き出しその他食品給与用③被災者救出用機械器具燃料用④被服寝具等⑤衣料品衛生材料⑥燃料及び消耗品⑦行方不明者の捜索に係る物資など、用途別種目名を記入し、それぞれ別葉とすること。

2 品名ごとに、別葉とすること。

3 「摘要」欄には、購入先、受入先又は払出先を記入すること。

4 「備考」欄には、購入単価及び購入金額を記入すること。

5 「備考」欄には、払高数量（使用数量）に対する金額を記入すること。

6 道からの受入分及び町調達分別に受、払、残のそれぞれの数及び金額を記入すること。

7 救護班による場合は、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記すること。

8 本様式は、災害救助法の適用時にはその事務のために用いること。

世帯構成員別被害状況

年 月 日 時現在

被害別	世帯構成員別	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人世帯	8人世帯	9人世帯	10人世帯	計	小学生	中学生	高等学校生
全壊（焼）															
流出															
半壊（焼）															
床上浸水															
合 計															

物資購入（配分）計画表

年 月 日 時現在

世帯区分 品名		単価		1人世帯				2人世帯				3人世帯				4人世帯				5人世帯				人世帯				計				備考
				円				円				円				円				円				円								
				数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	数量	世帯数	所要数	金額	

注) 1 本表は、全壊（焼）、流失世帯分と半壊（焼）及び床上浸水世帯分に分けて作成すること。「区分」欄の該当する方に○と記入すること。

2 「(基準額)」欄は、細則別表第 1、2 の額を記入すること。

3 「品名」欄は、寝具、被服、その他生活必需品名を記入すること。

4 品目ごとの「備考」欄に、道及び町調達分を明らかにしておくこと。

物資の給与状況

住家被害 程度区分	世帯主 氏名	基礎とな った世帯 構成人員	給与 月日	物資給与の品名						実支出額	備考
				布団	毛布						
		人								円	
計	全 壊	世帯									
	半 壊	世帯									

災害救助物資として、上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者 氏名

㊞

- 注) 1 住家の被害程度に、全壊（焼）、流出又は半壊（焼）、床上浸水の別を記入すること。
 2 受領年月日欄は、その世帯に対して最後に給与された物資の受領年月日を記入すること。
 3 「物資給与の品名」欄は、数量を記入すること。
 4 本様式は、災害救助法の適用時にはその事務のために用いること。

物資給与及び受領簿

住家被害 程度区分	1 全壊（焼） 2 半壊（焼）	3 流出 4 床上浸水	給与の基礎となった 世帯構成員数	人
--------------	--------------------	----------------	---------------------	---

災害救助用物資として、下記のとおり受領しました。

年 月 日

世帯主 住所
氏名
連絡先

給与年月日	品 名	数 量	備 考

注) 被災者が記入する受領年月日は、その世帯に対し最後に給与された物資の受領年月日とする。

救 護 班 活 動 状 況

救 護 班

班 長：氏 名 ㊟

月 日	市町村名	患者数	措置の概要	死体検索数	修繕費	備 考
		人		人	円	
計						

注) 「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

病 院 診 療 所 医 療 実 施 状 況

診療機関名	患者氏名	診療期間	病 名	診療区分		診療報酬点数		金 額	備 考
				入院	通院	入院	通院		
						点	点	円	
計 機関	人					点	点	円	

注) 「診療区分」欄は、該当欄に○と記入すること。

助 産 台 帳

[illegible]

医薬品及び衛生材料物資受払簿

医療班名				担当医師名 班 長 名											
品 名	単位 呼称	単 価 (円)	受 入 先	払										残	備 考 (円)
				日	日	日	日	日	日	日	日	日	日		
計	残品は病院に返品。購入品も病院より業者払 使用額 計 円														

- 注) 1 備考欄に使用数量に見合う金額を記載する。
 2 本記録の控えは、経費要求時に添えて提出する。
 3 その時に記録できない部分は事後に整理する。

建設型応急住宅台帳

世帯主氏名	家族数	所在地	構造区分	面積	敷地区分	着工 月 日	竣工 月 日	入居 月 日	実支出額 (円)	備考
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		
						月 日	月 日	月 日		

注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。

2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。

3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。

4 「構造区分」欄は、木造住宅・プレハブ住宅の別を記入すること。

5 「敷地区分」欄は、公・私有別とし、有・無償の別を明らかにしておくこと。

6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

7 本様式は、災害救助法の適用時にはその事務のために用いること。

住宅応急修理記録簿

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	実支出額(円)	摘要
計	世帯			

注) 本様式は、災害救助法の適用時にはその事務のために用いること。

行方不明者の捜索に係る物資受払状況

救助種目別	
品 名	

品 目		単 位			
年 月 日	摘 要	受	払	残	備 考
計	道調達分				
	町調達分				

- 注) 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出先を記入すること。
- 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入すること。
- 3 最終行欄に、道からの受入分及び町調達分別に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を記入すること。

遺 体 の 捜 索 状 況 記 録 簿

年月日	搜索 人員	搜 索 用 機 械 器 具								実支出額	備 考
		名 称	借 上			修 繕			燃 料 費		
			数 量	所 有 者	金 額	修 繕 月 日	修 繕 費	修 繕 の 概 要			

注) 1 他市町村に及んだ場合には、「備考」欄にその市町村名を記入すること。
2 捜索用機械器具は、借上費の有償、無償を問わず作成するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に額を記入すること。
3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。
4 本様式は、災害救助法の適用時にはその事務のために用いること。

遺 体 の 処 理 台 帳

処 理 年月日	遺体発見 の 日 時 及び場所	死亡者氏名	遺 族		洗 浄 等 の 処 理			遺体の 一時保存	検 案 料	実支出額	備 考
			氏 名	死亡者 と の 関 係	品 名	数 量	金 額				
							円	円	円	円	
計							円	円	円	円	

注) 本様式は、災害救助法の適用時にはその事務のために用いること。

埋 葬 台 帳

死 亡 年月日	埋 葬 年月日	死 亡 者		埋 葬 を 行 っ た 者			埋 葬 費			備 考
		氏 名	年 齢	氏 名	死 亡 者 との関係	棺 (付属品 を 含 む)	埋葬又は 火 葬 料	骨 箱	計	
						円	円	円	円	
計						円	円	円	円	

- 注) 1 埋葬を行った者が町長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
- 2 町長が、棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。
- 3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に明らかにすること。
- 4 本様式は、災害救助法の適用時にはその事務のために用いること。

要請日時： 年 月 日 時 分

		要 請 機 関									
		担当者氏名									
		連 絡 先		TEL		FAX					
災害の状況・派遣理由	覚 知	年		月		日		時		分	
	災害発生日時	年		月		日		時		分	
	災害発生場所										
	災 害 名										
	災害発生状況・措置状況										
派遣を必要とする区域						希望する活動内容					
気 象 の 状 況											
離着陸場の状況		離着陸場名									
		特 記 事 項		(証明・ H マーク、吹き渡し、離着陸場の状況（障害物等）ほか)							
必要とする資器材						現地での資器材確保状況					
						特 記 事 項					
傷病者の搬送先						救急自動車等の手配状況					
他機関の応援状況		他に応援要請している機関名									
		現場付近で活動中の航空機の状況									
現地最高指揮者		(機 関 名) (職・氏名)									
無線連絡方法		(周波数) Hz									
そ の 他 参 考 と な る 事 項											
搭乗者	所 属	職	氏 名		年齢	所 属	職	氏 名		年齢	備 考

第 号
年 月 日

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航に係る災害等状況報告書

総括責任者
北海道総務部危機管理監 様

当別町長

北海道消防防災ヘリコプター緊急運航要領第 8 条の規定に基づき、次のとおり報告します。

災 害 発 生 日 時		年 月 日 () 時 分						
災 害 発 生 場 所								
派 遣 場 所								
離 着 陸 場								
使用した資器材								
傷病者の搬送先								
消防防災ヘリコプターに係る活動内容等		[地元の活動状況（消防防災ヘリコプター運航に係る分）]						
		[消防防災ヘリコプターによる活動状況]						
災害発生状況 ・ 措置状況								
その他参考となる事項								
搭乗者	所 属	職	氏 名	年 齢	所 属	職	氏 名	年 齢

救急患者の緊急搬送情報伝達票

第 報
()

要請年月日		年 月 日 時 分			
1 要請市町村名		当別町	電話		FAX
担 当 者		課名	職名		氏名
2 依頼病院名		電話		FAX	
所 在 地					
担 当 者 (医師名)		医師 氏名			
3 受入れ医療機関名					
所 在 地					
電 話		FAX			
受入れ医療機関の了承 有 ・ 無					
4	ふりがな 患者氏名	生年月日	年	月	日 歳 男・女
		体重	kg	職業	
住 所					
病 名					
経 過					
5 付添搭乗者 (医師、看護師の所属： 依頼病院 ・ 受入れ医療機関)					
氏名	医 師		年齢	歳	体重 kg
	看護師		年齢	歳	体重 kg
	付添人		年齢	歳	体重 kg
6 運航上の必要事項					
(1) 患者に装備されている医療機関の状況					
① 点 滴 (規格 × 、重量 ℓ)					
② 保 育 器 (規格 H × W × L 、重量 g)					
③ 酸素吸入器 (規格 × 、重量 g)					
④ そ の 他 (名称 、規格 × 、重量 g)					
(2) 積載されている機器の種類、重量、規格					
① 依 頼 病 院		kg	kg	kg	kg
② 受入れ医療機関		kg	kg	kg	kg
離 現 着 陸 場 地			メモ		

第 号
年 月 日

北 海 道 知 事 様

当 別 町 長 印

自衛隊の災害派遣要請について

このことについて、次のとおり緊急措置が必要なので、自衛隊の災害派遣の要請を依頼します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を要請する事由
- 2 派遣を必要とする期間
- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
- 4 派遣舞台が展開できる場所
- 5 派遣部隊との連絡方法、その他参考となる事項
(作業用資材、宿舎の準備状況、現地の連絡責任者等)

第 号
年 月 日

北海道知事様

当別町長印

自衛隊の災害派遣部隊の撤収要請について

年 月 日付けをもって要請を要求した自衛隊の災害派遣については、目的を達成したので、次の日時をもって撤収要請されるよう依頼します。

記

1 派遣を必要とした事由

2 撤収要請日時 年 月 日 時 分